

広報物品使用上の注意事項

(1) 使用前

- ・装着方法等の「取扱説明書」に必ず目を通すこと。

(2) 着脱するとき

- ア) 着脱の際は、更衣室を確保するなど関係者以外（特に子ども）の目に触れないよう注意すること。
- イ) 着用の際は、素肌が直接着ぐるみに触れないように、長袖、長ズボン、手袋等を着用すること。
- ウ) 着脱の際は、着ぐるみを破損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。（活動する際も同様である）

(3) 活動するとき

- ア) 当日の会場、天候及び体調等を考慮して適宜休憩をとり、交代要員を配置するなど、無理のない活動計画を立てること。
- イ) 会場の気温等を考慮し、こまめに水分補給を行うなど、十分な暑さ対策を講じること。
- ウ) 雨天時は、原則として屋外での使用を控えること。なお、使用中に雨天となった場合は、使用後に清潔なタオル等で水気を拭き去り、十分に乾燥させること。
- エ) 着用すると視界が狭いため、活動の際には必ず誘導者をつけること。
また、幼児等にぶつかったり、倒したりする恐れがあるので、急に振り向いたり、急に走り出すことは避けること。転倒にも十分注意すること。
- オ) 「がんばくん」「らんばちゃん」のイメージを保つため、着ぐるみ着用時は声を出さないこと。また、品位を傷つけるような動きやポーズはしないこと。
- カ) 誘導者は、着ぐるみをたたいたり、押したりする人がいた場合には、直ちに制止するとともに、再発防止に努めること。

(4) 使用後

- ア) 消臭スプレー等を使用して、風通しの良いところで陰干しし、十分に乾燥させてから返却すること。
- イ) 汚れた場合は、汚れを十分に落とすこと。
- ウ) 屋外で使用した後は、靴底の汚れを必ずぞうきん等で拭き取ること。
- エ) 破損したり、部品を無くした場合は、貸出機関に申し出ること。
- オ) 返却する際に、「使用報告書」（様式 3）を提出すること。

(5) その他

- ア) 型くずれしないよう、輸送や保管の際には取り扱いに十分留意すること。
- イ) 身長 170 cm 以下の方が着用した方が、より可愛らしく見えます。